

新潟市

当事者も 家族も 支援者も つながる つなげる

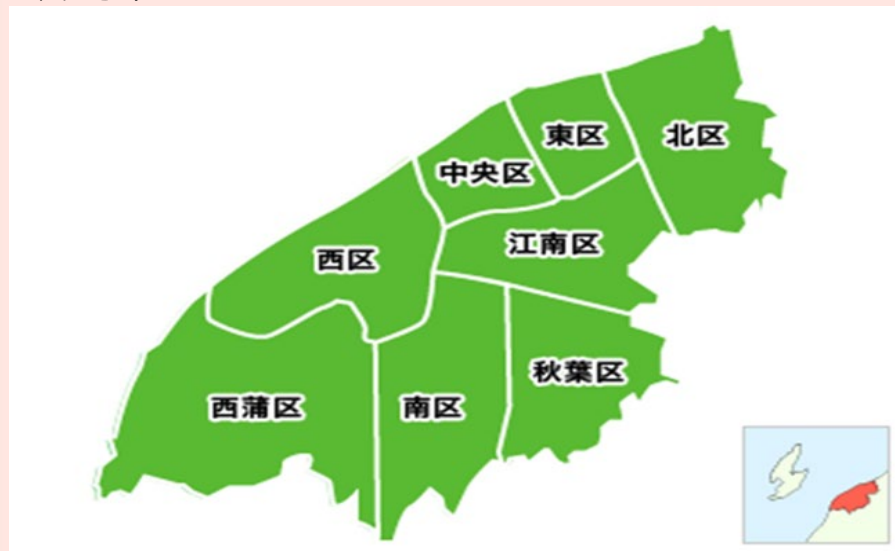
新潟市では・・・

誰もが安心して自分らしく生活することができるよう、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるための保健・医療・福祉関係者による協議の場として、既存の会議に当事者や家族を委員として加え拡充し、「新潟市精神障がいの地域生活を考える会」を令和2年度に設置しました。

精神障がいの有無や程度にかかわらず、人と人、人と社会がつながりながら生活できる地域を目指します。

1 県又は政令市の基礎情報

新潟市



【取組内容】

- 「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」の開催(R2～)
 - 全体会(年2回)
 - ワーキンググループ(年12回程度)
 - 「人材育成班」「ピア活動班」「企画・調査班」
- 地域移行・地域定着支援研修会(H26～)
- 社会資源見学ツアーの開催(H26～)
- 精神科病院情報交換会の開催(H26～)
- 当事者による普及啓発活動(H28～)
- 当事者活動記録の作成(R元)
- 当事者交流会の開催(R2～) など

基本情報

障害保健福祉圏域数(R3年4月時点)	1	か所		
市町村数(R3年4月時点)	1	市町村		
人口(R3年4月時点)	782,329	人		
精神科病院の数(R3年4月時点)	10	病院		
精神科病床数(R3年4月時点)	2,445	床		
入院精神障害者数 (R2年6月時点)	合計	2,278	人	
	3か月未満(%:構成割合)	406	人	
		17.8	%	
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	309	人	
		13.6	%	
	1年以上(%:構成割合)	1,563	人	
		68.6	%	
	うち65歳未満	566	人	
	うち65歳以上	997	人	
退院率(R元年6月時点)	入院後3か月時点	66.7	%	
	入院後6か月時点	83.3	%	
	入院後1年時点	93.3	%	
相談支援事業所数 (R3年6月時点)	基幹相談支援センター数	4	か所	
	一般相談支援事業所数	8	か所	
	特定相談支援事業所数	45	か所	
保健所数(R3年4月時点)	1	か所		
(自立支援)協議会の開催頻度(R2年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	2	回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況(R3年4月時点)	都道府県	-	-	か所
	障害保健福祉圏域	-	- / -	か所/障害圏域数
	市町村	有	1 / 1	か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」

「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築を進めるため、保健・医療・福祉関係者が、互いに連携しながら、支援方策、役割等を検討し、また、顔が見える関係性を構築しながら、地域づくりに向けた課題などを協議する場を設置。（令和2年度～）

【委員構成】

より当事者目線での協議ができるよう、既存の会議（「精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会運営委員会（※）」）の委員に当事者、家族などを加え拡充。

当事者、家族、精神科医、看護師、精神保健福祉士、相談支援事業所の相談支援専門員、基幹相談支援センター相談員、大学教員、障がい者就業支援センター相談員など。委員16名。

（※）平成26年度から設置。官民協働、多職種で構成された委員で、関係機関職員の人材育成とネットワーク構築を目的に、毎年研修会等の企画・運営を行ってきた。

【運営方法】

- ・「全体会」 地域の課題や各事業の成果等を評価し、支援体制や地域基盤の整備等について検討する（年2回）
- ・「ワーキンググループ」 全体会での協議を受け、地域課題の解決に向けた具体的な取り組みを検討、（年12回程度） 実施する

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

※「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」ワーキンググループ

令和2年度の「考える会」全体会において、3つのワーキンググループを立ち上げた。

①人材育成班

平成26年度から実施している人材育成のための研修会や社会資源見学ツアー等を継続するとともに、人材育成や普及啓発のための新たな取り組みについて検討する。

地域移行・地域定着支援研修会の開催、社会資源見学ツアーの開催 ほか

②ピア活動班

孤立しない・させない支援体制づくり、話し相手や仲間づくりが必要であることから、ピア活動について検討する。

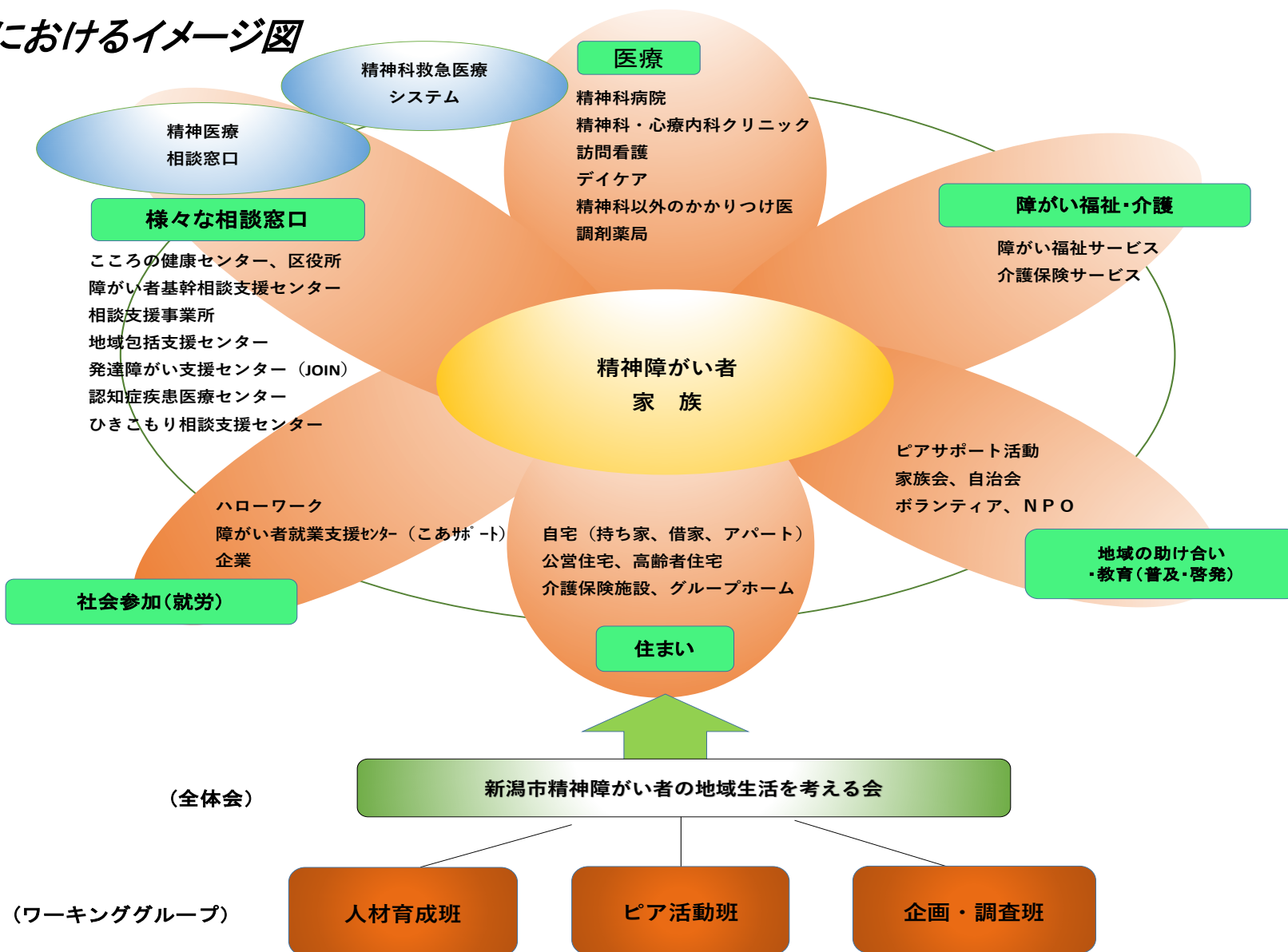
当事者・家族・支援者が揃って相談を受ける合同相談会の開催
当事者等交流会の開催、ピア活動の周知・普及啓発 ほか

③企画・調査班

地域で生活する精神障がい者が、何に困っているのか、何を望んでいるのか等を具体的に知るために、既存のアンケート調査結果の分析を行い、さらなる調査の実施も含め、新たな取り組みについて検討する。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

新潟市におけるイメージ図



3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

【これまでの経緯】

- | | |
|--------|---|
| 平成19年度 | 「新潟県退院促進支援事業」開始 |
| 平成23年度 | 「新潟市地域移行・地域定着支援事業」開始
地域体制整備コーディネーターの配置（～平成26年廃止） |
| 平成26年度 | 「新潟市精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会」開始
地域移行・地域定着支援研修会、社会資源見学ツアーの開催（平成26年～）
精神科病院情報交換会の開催（平成26年～） 当事者による普及啓発活動（平成28年～）
当事者活動記録の作成（令和元年） など |
| 平成29年度 | 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」
国庫補助申請開始 |
| 令和2年度 | 既存の連絡会を拡充し「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」を設置
ワーキンググループの立ち上げ「人材育成班」「ピア活動班」「企画・調整班」 |

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和2年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R2年度当初)	実績値 (R2年度末)	具体的な成果・効果
①新潟市精神障がい者の地域生活を考える会(全体会)の開催回数	2回	2回	本市の現状についてデータ、調査結果等をもとに共有し、課題や取り組むべきことについて協議を行い、ワーキンググループを3つ立ち上げた。 当事者と家族が委員に参画しており、当事者目線での意見を含めて協議することができた。
②地域移行・地域定着支援研修会の参加者数	70名	会場参加 8名 オンライン参加 44名	感染症拡大防止のため、例年と開催方法を変更した。参加者数は目標に満たなかったが、毎年継続して開催していることで、地域の支援者等のモチベーションの維持、職種の垣根を超えた連携の強化や人材育成に寄与した。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築推進のための協議の場として設置している「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」は、当事者と家族も委員に参画しており、当事者の目線を取り入れて協議を行っている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
重層的な連携による支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立しない、孤立させない地域づくり、人づくり ・当事者、家族、支援者間のネットワークの強化 	行政	当事者・家族・医療・福祉・行政などの関係機関が連携し共に取り組む
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和3年度末)	見込んでいる成果・効果
①新潟市精神障がい者の地域生活を考える会(全体会)の開催回数	2回	2回	・地域課題に向け取り組むワーキンググループ活動への評価
②地域移行・地域定着支援研修会の参加者数	52名	100名 (オンライン80名 +会場20名)	・支援者の人材育成・当事者、家族、支援者間のネットワークの強化・精神障がい、精神疾患の普及啓発
③社会資源見学ツアーのコース数	3コース	4コース	・支援者が、社会資源を把握し、理解を深めることで、実際の支援につながる
④当事者団体等との共同事業の開催回数	0回	2回	・当事者、家族、支援者間のネットワークの強化 ・重層的な連携による支援体制の構築
⑤個別ニーズの把握	—	インタビュー調査の実施・分析	・令和4年度に実施予定のアンケート調査に向けての方向性の明確化

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 今年度の取組スケジュール

「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」

	時期(月)	実施する項目	実施する内容
全体会	R3年5月	第1回考える会全体会	・「にも包括検討会」報告書について・各ワーキンググループからの活動報告など
	R3年11月	第2回考える会全体会	・各事業の取組状況、成果等についての評価、協議など
人材育成班	R3年10月	社会資源見学ツアー	・支援者等を対象に、障がい福祉サービス事業所などの社会資源を見学
	R3年12月	地域移行・地域定着支援研修会	・当事者、家族、支援者等を対象とした研修会(講義・シンポジウム) テーマ「当事者も家族も支援者も、つながる、つなげる」
	R4年3月	精神科病院情報交換会	・精神科病院PSWの情報共有、行政説明
ピア活動班	R3年10月	合同相談会	・当事者、家族、支援者が揃って相談を受ける合同相談会
	R4年3月	当事者等交流会	・当事者同士、当事者と支援者の交流会
企画・調査班	R3年5月～	既存のアンケート調査結果の分析	・ニーズの把握 ・インタビュー調査準備(調査項目、対象者選定など)
	R4年1月～	インタビュー調査	・インタビュー調査実施、結果とりまとめ、分析

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の特別に考える必要がある事項について

考えられる事項	想定される次期 (方向性判断の必要性が 考えられる次期)	実施する内容
<p>○感染症拡大等により、予定していた会議(新潟市精神障がい者の地域生活を考える会)が開催ができなくなる。</p>	<p>開催の1～2ヶ月前</p>	<p>オンライン会議または書面会議での開催に切り替え、会議を実施する。</p>
<p>○感染症拡大等により、相談会、社会資源見学ツアー、交流会などの事業の開催ができなくなる。</p>	<p>開催の1～2ヶ月前</p>	<p>開催方法の変更等(中止も含め)を検討する。</p>